

審査結果

この度は全日本画材協議会主催「第1回 Jam 公募展」に応募いただき、誠にありがとうございました。全国から寄せられた作品総数は306点でした。12月8日に行われた審査の結果、51点の作品の入賞が決定いたしました（次ページ表参照）。今回は大賞に匹敵する優秀な作品を出品されたお二方に「審査員特別賞」が授与されることになりました。

審査委員長：川見良夫（全日本画材協議会会長） 審査委員：弓手研平（画家・一水会所属）、nao mongo（画家）、全日本画材協議会常任理事5名。

JAM大賞

津久井陽平『良く見た風景』



審査員特別賞

吉田努『参拝する人』



審査員特別賞

藤井妙子『通り道』



審査結果

「第1回Jam公募展」受賞者

賞	氏名	題名
JAM 大賞	津久井陽平	良く見た風景
審査員特別賞	吉田 努	参拝する人
審査員特別賞	藤井妙子	通り道
アルス色彩工業 賞	七里亨司	友ヶ島にて
アルテ 賞	岡田安正	小野秋景
伊研 賞	中村幸彦	大宰府「鬼すべ」
一休園 賞	熊谷哲夫	薫風赤城山
USUI BRUSH 賞	小寺博子	釣鐘堂へ
エヌティー 賞	是則孝史	晩冬のさんぽ道
王冠化学工業所 賞	桑原有生	神社の裏
上羽絵惣 賞	伊佐治孝夫	大賀ハス
オリジン 賞	舟田治彦	湯川風景
吉祥 賞	古田つた代	飛翔
クサカベ 賞	坂井幸子	のどかな午後
彩画堂 賞	山口隆司	晩秋の朝(二上山)
サムトレーディング 賞	高柳剛士	蝉時雨
新日本造形 賞	曾根啓視	山居倉庫・夏
大日本美術工芸 賞	中村さとみ	ふるさとの風景
田中金華堂 賞	清水巫俣	眉山遠望
ターナー色彩 賞	山口泰子	郷愁
谷口松雄堂 賞	成田由紀子	生命の木
ターレンスジャパン 賞	出口美子	君と見たい
チャコペーパー 賞	石井 誠	関門海峡
デリーター 賞	坂本貴彦	朝倉27
同志舎 賞	玉井 淳	船折瀬戸
東洋クロス 賞	白井秀夫	秩父夜祭
ナカガワ胡粉絵具 賞	田中屋美智子	クレーンのある風景
中里 賞	松下任久	上野城高垣
那須野画材工業 賞	村中直美	路
名村大成堂 賞	松下憲司	下町風情の通天閣界限
ニッカー絵具 賞	廣實郁子	蜘蛛のいる夕焼けの庭先
日本色研事業 賞	藤井 弘	西岩国駅
パジコ 賞	藤田果菜美	夜桜
バニーコルアート 賞	亀岡早百合	鵜匠
バンコ 賞	柳田理英	冬・朝
美術工芸センター 賞	菊地龍堂	紫朝霞
美術出版サービスセンター 賞	松本邦秀	姉妹の故郷回想
福岡工業 賞	樋野黄平	夜の電車
文房堂 賞	向笠友子	日々是好日(白糸影富士)
墨運堂 賞	名取川雅司	チューリップの里
細川商会 賞	大木孝子	雪の朝
ホルベイン画材 賞	納義 純	望郷
ホルベイン工業 賞	塗木マサミ	桜島
松田油絵具 賞	山浦敏秋	秋の裏大山
マルオカ工業 賞	酒井万紀	日の名残り
丸善美術商事 賞	針貝厚子	長与本川内
マルマン 賞	後町紀雄	Evening Sunlight
道刃物工業 賞	工家清人	6月の麦畑と八面山
ミューズ 賞	竹内康晃	思い出の駅
ラーソン・ジュール・ニッポン 賞	野川美保子	大山遠望
ユナイテッド・カラー・システムズ 賞	岸本順次朗	母子

審査結果

審査評

「第1回 Jam 公募展」の審査にあたられた弓手研平（画家・一水会所属）、nao morigo（画家）両氏から「審査評」をいただきました。

弓手研平（ゆんで けんべい／日本美術家連盟会員・一水会委員）

「みんなに知ってほしい、地元の風景を描こう！」とは、現代のデジタル社会において、絵を描くという太古から培ってきた人間文化の普遍的な温かみを、再認識させてくれる素敵なテーマです。

必ずしも名所旧跡でなくても、絵を描くという目線から観ると、何でもない身近な風景に、より愛着を持って接しられるのではないか、いや、名所旧跡だって、絵を描くという視点からじっくり観るからこそ、その本当の魅力が見えてくるという、絵を描く楽しさを大切にしたいコンセプトがjam 公募展ならではの魅力であると思います。

大賞を受賞された津久井陽平さんの「良く見た風景」は、何でもない駅前風景ですが、Jam 公募展から発信すべき温かみを備えた秀作です。23歳という若い作者の、奇をてらわず愛着のこもった筆致からは、その地に暮らす瑞々しい生活感が滲んでいます。審査員特別賞の藤井妙子さんの見落とししがちな鄙びた路地を描いた視点の面白さや、吉田努さんの爽やかな筆捌きから伝わる現場の透명한空気感も特筆しておきたい秀作です。

さらに“馬子にも衣装”ではありませんが、愛情を込めて描かれた作品を、額縁に入れた時のドキメキが、絵を描く楽しさの一つとして伝わってくる作品が数多くあったことも Jam 公募展ならではの魅力でしょう。

nao morigo（なお もりごう／画家）

今回私が絵を審査する上で一番大切にしたい点は「その空間に流れる空気と作家の呼吸」です。絵を見れば、それが風景を構成する線を追って描いただけのものか、または、絵を描きながらその空間に自身が旅をしているか。それが伝わってきます。

次に「構図などのバランス」「独自性」そして「絵に『着せた』額縁とのバランス」そのような点を意識して審査させて頂きました。

今回の題材に限らず、「描きたい」と思った光景には必ず「表現したい何か」が隠れています。時にそれが見つけられない事もありますが、沢山制作するうちに見えてくるものもあります。絵を描く事は時に修行のような感覚に陥る事もありますが、そうする事で一皮も二皮も剥けた作品が生まれてきます。

今回残念ながら賞に選ばれなかった作品も、あと一歩で大きく変わると思われる作品が沢山ありましたので、これにめげずにどんどん制作して次にチャレンジして欲しいと思います。

入賞作品展

「第1回 Jam 公募展」入賞作品展を下記の通り開催いたします。

【大阪展】 2016年2月1日～13日 大阪・ホルベイン ギャラリー
http://www.holbein.co.jp/holbein_gallery.html

【東京展】 2016年2月22日～26日 東京・ターナーギャラリー
<http://turnergallery.net>